

第75回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第75回日本体力医学会大会は下記のように準備を進めております。発表の登録および学会誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM) NO. 6」への一般発表抄録の原稿提出はすべて大会ホームページ上で行います。本大会の一般発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

なお、学会の最新情報は第75回大会ホームページ（<http://ltd-css.jp/jspfsm75/>）をご覧ください。

記

1. 会 期：令和2年9月24日(木)、25日(金)、26日(土)
2. 会 場：鹿児島大学 郡元キャンパス
(鹿児島県鹿児島市郡元1丁目21-24)
3. 大 会 長：徳田 修司
(鹿児島大学名誉教授・鹿屋体育大学特任教授)
4. 大会事務局：鹿屋体育大学 運動生理学研究室内
第75回日本体力医学会大会事務局
事務局長 與谷 謙吾（鹿屋体育大学 スポーツ生命科学系 准教授）
〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
運営事務局：株式会社 CSS内
第75回日本体力医学会大会運営事務局
〒891-0116 鹿児島県鹿児島市上福元町6380-9
TEL：099-298-1511 FAX：099-298-1512
E-mail：jspfsm75@ltd-css.jp
5. 大会プログラム（予定）
 - (1) 大会長講演
 - (2) 特別講演
 - (3) 教育講演
 - (4) シンポジウム
 - (5) 国際セッション
 - (6) ワークショップ
 - (7) 一般研究発表（口頭・ポスター）
 - (8) ランチョンセミナー
 - (9) 県民・市民公開講座
 - (10) 持久走大会
 - (11) その他

参加登録方法

1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に予稿集、大会参加証をお送りする予定です。

2. 大会参加費

学会会員	事前登録	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員		一般	12,000円	学生	7,000円

※非会員の参加登録は当日登録のみとさせていただきます。

3. 事前登録

(1) 事前登録期間

2020年4月1日(水)～7月27日(月) 正午まで

(2) 事前登録方法

事前登録はホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のバナーから、案内に従い登録を行って下さい。

第75回学会大会ホームページ: <http://ltd-css.jp/jspfsm75/>

※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意下さい。

(3) 事前登録の参加費支払い方法

大会参加登録は、オンラインでの登録システムにおいて、

①クレジットカード (JCB・AMEX・Master・Visa)

②銀行振込

のいずれかの方法でお支払いください。

(4) 当日登録方法

事前登録をされていない会員、非会員の方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、受付に当日登録所を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

※学会大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員ではなくてもかまいません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。

シンポジウム募集のお知らせ

第75回日本体力医学会大会では、シンポジウムを会員より募集します。提案を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

【応募資格】

日本体力医学会会員

【応募方法】

1. 応募申込書作成要項

シンポジウム応募申込書を、第75回学会大会ホームページ: <http://ltd-css.jp/jspfsm75/>よりダウンロードし、Microsoft Wordで作成して下さい。

2. 送付方法

作成したファイルは電子メールに添付し、運営事務局 (jspfsm75@ltd-css.jp)宛に送付して下さい。電子メールの本文中には氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記載して下さい。

3. 締め切り

2020年2月29日(土) 正午まで

【選考方法】

第75回日本体力医学会プログラム委員会で審査し、選出する予定です。

【結果通知】

選考結果は2020年3月下旬までに通知いたします。

【注意事項】

応募者は会員に限られますが、座長・演者は非会員でも可とします。また、非会員の座長・演者に対しては学会参加費徴収をおこないません。なお、旅費・謝礼等に関しては、大会事務局では負担できませんので、予めご了承の上、ご応募ください。

演題応募方法

【登録資格】

演題登録ができるのは、会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方は、日本体力医学会ホームページからオンラインで、入会手続きを行って下さい（自動返信メールで会員番号が通知されます）。FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階

学会支援機構内

Phone：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jpsfsm@asas-mail.jp

【登録方法】

演題登録開始：2020年4月1日(水) 正午から

締切：2020年5月29日(金) 正午まで

一般研究発表の演題登録の際には、大会ホームページ上で事前登録も併せてお願いします。

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。発表予定者の方々は発表形式の選択を行って下さい。ただし、口頭発表には限りがありますので、希望に添えない場合があります。発表形式の決定は実行委員会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

演題登録は大会ホームページ上で演題応募のタブをクリックし、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「JPFISM NO. 6」掲載用抄録の登録に必要になりますので忘れることのないようご注意下さい。

大会ホームページ URL: <http://ltd-css.jp/jpsfsm75/>

<一般研究発表された演題の抄録は英文とし学会誌「JPFISM NO. 6」に掲載します>

※英文抄録は発表者各自でネイティブチェックを受けることを推奨します。

「JPFISM NO. 6」の掲載用抄録の登録期間

開始 2020年8月上旬（採択通知到着後から）

締切 2020年10月2日(金) 正午まで

締切を過ぎると「JPFISM NO. 6」への抄録の掲載ができません。

【その他】

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティーの関係上応じられません。
登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、ホームページ上に随時掲載いたします。

2019年に査読をお願いした先生方は次の方々です

秋間 広	苧山 靖	立木 隆 広	松尾 真 吾
阿部 巧	河野 史 倫	田辺 解	三浦 哉
新井 彩	菊元 孝 則	辻 大 士	水野 康
安藤 良 介	木越 清 信	辻本 健 彦	三谷 保 弘
家光 素 行	木田 哲 夫	中村 恭 子	宮地 元 彦
池戸 葵	北田 耕 司	布宮 亜 樹	宮本 忠 吉
石田 行知	北畠 義 典	根本 裕 太	三好 圭
石原 一成	城所 哲 宏	八田 有 洋	村瀬 智 彦
一之瀬 真 志	木竜 徹	花岡 裕 吉	本山 貢
宇高 潤	黒谷 佳 代	原 丈 貴	森本 茂
浦辺 幸 夫	神野 宏 司	原田 和 弘	門間 陽 樹
枝 伸 彦	小山 勝 弘	東浦 拓 郎	柳岡 拓 磨
大河原 一 憲	小山 宏 之	引原 有 輝	柳澤 修
大藏 倫 博	坂井 智 明	平山 大 作	山北 満 哉
太田 洋 一	真田 樹 義	深野 真 子	山口 太 一
大槻 毅	篠原 智 行	福田 亜 紀	山口 真 紀
岡野 亮 介	柴田 愛	福本 寛 之	山澤 徳 志 子
小木曾 一 之	神事 努	藤井 直 人	山田 実
奥田 鉄 人	菅原 順	北條 達 也	山津 幸 司
麻見 直 美	鈴木 宏 哉	星川 佳 広	渡部 厚 一
片山 靖 富	須永 美 歌 子	堀内 雅 弘	渡邊 航 平
勝亦 陽 一	膳法 亜 沙 子	前田 明	渡辺 賢
鎌田 真 光	蘇 り ナ	前田 清 司	
賀屋 光 晴	高橋 信 二	町田 修 一	

正誤表

下記の通り、誤記がありましたので訂正いたします。

正誤箇所	誤	正
体力科学 第68巻 第6号 〈お知らせ〉 P29 一般社団法人日本体力医学会 令和元年度社員総会 議事録	議 長：下光輝一	議 長：鈴木政登

第31回日本体力医学会スポーツ医学研修会のご案内

日本体力医学会学術委員会主催の本研修会は基礎コースと応用コースに分かれ、それぞれ2日間、講義と実習を行います。実習は救急救命法、健常者や生活習慣病罹患者に対する運動処方、傷害予防・機能回復の筋力トレーニングおよびテーピングなどです。アスリートを対象とした研修内容ではありませんのでご注意ください。

全てのコースを受講して修了試験に合格し、所定の手続きをとると「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号を受けることができます。

称号取得を希望される方は、日本体力医学会に入会し、会員になっていただく必要があります。

この研修会には日本体力医学会非会員の方も参加できます。また、他の研修会を受講し、資格や称号を取得された方で、それらの更新に必要な認定単位取得のために本研修会を受講されても結構です。受講証明書を発行いたします。さらに受講者には本研修会のテキストとともに副読本として「医師・コメディカルのためのメディカルフィットネス」(社会保険研究所発刊、日本体力医学会著・編)を無料で配布します。

尚、実習を行う関係上、各年度の参加人数に制限がありますことをご了承下さい。

令和2年1月7日

日本体力医学会学術委員会・スポーツ医学研修会実行委員会

中里浩一 岡本孝信 須永美歌子 進藤大典 太田 眞 蕪木智子 清水智美 宇高 潤

1. 会 場

日本体育大学東京世田谷キャンパス、各教室および中央測定室など

2. 日時および研修内容

(I) 基礎コース

運動生理学やスポーツ医学等の基礎的事項を前提に、さらに進んだ生理学(神経・筋、呼吸、循環、代謝など)や栄養学および運動処方の基礎などを中心に学びます。

2020年7月4日(土)

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| 9:00~10:40 | オリエンテーション、有疾患に対する運動療法の考え方(含COPD,腎症) |
| 10:40~10:50 | 休憩 |
| 10:50~11:50 | 高次脳機能と運動 - 認知症予防のための運動など- |
| 11:50~12:50 | 筋骨格系組織と運動 - 寝たきり予防のための運動など- |
| 12:50~13:50 | 昼食・休憩 |
| 13:50~14:50 | 循環と運動 |
| 14:50~15:50 | 幼児期および成長期における運動指導について |
| 15:50~16:00 | 休憩 |
| 16:00~17:00 | 運動、栄養、生活習慣病予防について |
- 懇親会(会費3000円,参加自由)

2020年7月5日(日)

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 9:00~10:30 | 運動処方の基礎 |
| 10:30~10:40 | 休憩 |
| 10:40~12:10 | 運動器疾患に対する運動療法 |
| 12:10~13:10 | 休憩 |
| 13:10~14:40 | 心血管系疾患の運動処方および服薬者の運動時注意点 |
| 14:40~14:50 | 休憩 |
| 14:50~16:20 | メタボリックシンドロームに対する運動療法 |

(II) 応用コース

基本的な運動指導の実際について学びます。実習では自転車エルゴメータによる運動負荷試験をもとに運動処方を作成します。また、呼吸機能検査、体組成測定法、テーピングや筋力トレーニング実習も行います。

2020年9月18日(金)

- 9:00~12:00 運動処方実習(a)(トレッドミルおよび自転車エルゴメータを利用した運動負荷試験, 心電図記録, 呼吸機能検査, 乳酸測定など)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 運動処方実習(b), 尿検査, 体組成測定, 筋力/筋パワー測定など

2020年9月19日(土)

- 9:00~12:00 運動処方の実際(前日の運動負荷試験で得られたデータを基に各被験者の運動処方を作成し, 実施する)
- 12:00~13:00 昼食・休憩
- 13:00~17:00 スポーツ傷害予防実習(テーピング, 筋力/筋パワートレーニング, 救命救急実習)

3. 修了試験と称号について

基礎コースおよび応用コースの両コースを受講した方は、所定の修了試験を受験することができます。修了試験は2020年9月20日(日)10:00~12:00に日本体育大学東京世田谷キャンパスで行います。修了試験の合格者には合格証を発行いたします。また、修了試験合格後、所定の手続きを経て、日本体力医学会健康科学アドバイザー®の称号を取得することができます。

※「日本体力医学会健康科学アドバイザー認定試験過去問集(正解/解説付)」(税込:2,000円)がありますので、是非ご利用下さい。下記の「9. 申込書送付先および問い合わせ先」へお申込み下さい。

4. テキスト

担当講師が用意した講義資料を簡略なテキスト化し、それに準じて講義が行われます。また、プレゼンテーション資料も必要に応じて当日配布致します。

5. 受講料

受講料は(I)基礎コース、(II)応用コースおよび修了試験の全てを受講する場合は50,000円、単科コース(基礎コース、応用コースの各コースを単独受講)を受講する場合はそれぞれ25,000円(2日間コース)です。2コースの受講を原則としますが、定員に余裕があれば、単科コースの受講も可能です。その年度に受講しなかったコースを次年度以降に受講すれば、全コース受講後修了試験を受験することができます。尚、学生受講者は30,000円(基礎・応用コース)と致します。ただし学生証の呈示が必要です。

6. 受講資格と定員

スポーツ医学研修会受講資格は特に定めませんが、2コース受講後に行われる修了試験に合格し「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」の称号取得申請を希望する方は日本体力医学会会員でなければなりません。但し、自己研鑽のために本研修会を受講される方や他団体の資格や称号の登録更新のための認定単位取得が目的の場合は日本体力医学会会員になる必要はありません。

定員は各コース40名です。

7. その他

健康運動指導士、健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位(60分1単位)について、基礎コースでは講義11.5単位、応用コースでは講義0.3単位および実習12.7単位がそれぞれ認定される予定です(2020年4月申請予定)。ま

た、THP（トータル・ヘルスプロモーション・プラン）のレベルアップ研修における基礎コース5単位、応用コース5単位が認定される予定です（2020年4月申請予定）。

8. 申し込み方法

本研修会受講希望者は、葉書またはFAXで、日本体力医学会スポーツ医学研修会を受講したい旨を下記までご連絡下さい。仮申込受付後、申込書類をお送りいたしますので、要領に従いお申込下さい。なお、申込に際し、受講料をご案内の口座に2週間以内にお振込み下さい。お振込みをもって正式な申し込みとさせていただきます。定員に達し次第、締め切らせていただきますのでご了承下さい。受講票、受講料などの連絡は、受講通知とともに後日ご案内させていただきます。

なお、申し込みが20名に満たない場合には中止させていただきますのでご了承下さい。その時には受講料を払い戻しますが、本人都合による返金には応じられませんので、あらかじめご了承下さい。

※本学会ホームページの“お知らせ”にある、「スポーツ医学研修会」および「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」を確認し、手続きの参考にしてください。

9. 申込書送付先および問い合わせ先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13ユニゾ小石川アーバンビル4F
 一般社団法人 学会支援機構内
 日本体力医学会スポーツ医学研修会 係
 電話：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012
 E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

第31回日本体力医学会スポーツ医学研修会仮申込書

下記の通り、研修会の受講を申し込みます。（該当する□にレ印をつけてください。）

第31回 基礎コース

第31回 応用コース

試 験

氏 名 _____

連絡先 〒 _____

TEL： _____ E-Mail： _____

編 集 後 記

2020年最初の「体力科学」第69巻1号をお届けします。本号は、鹿児島で開催される第75回日本体力医学会大会のご案内（第2報）、昨年つくば市で開催された第74回大会の指定演題の抄録、原著論文5編、教育講座1編、JPFISM, Vol. 9, No. 1 (2020) の抄録などから構成されています。掲載した5編の原著論文の内容は、実践的スポーツ医学や高齢社会での社会的課題に焦点を当てた研究であり、大変興味深い内容となっています。論文を投稿いただいた著者の皆様、ならびに査読をご担当いただいた先生方に厚くお礼申し上げます。会員の皆様には引き続き、体力科学とJPFISMへのご投稿をお願い致します。

日本列島を沸かせたラグビーワールドカップの興奮が冷めやらぬまま、ついにオリンピックイヤーに突入しました。昨年、ラグビーでは日本代表が初のベスト8入りを果たし、バスケットボールでは八村塁選手がNBAドラフト会議で日本人初の1巡目指名を受け、女子ゴルフでは渋野日向子選手が42年ぶりに日本勢として海外メジャーの全英女子オープンゴルフで優勝しました。その他の競技においても多くの日本人選手が世界の大舞台で活躍し、東京オリンピックでの日本人選手に対する期待がますます高まっています。

その一方で、ライフスタイルの変化に伴って多くの人々の身体活動量が減少し、子どもから高齢者に至るまで幅広い年齢層での体力の低下や多くの慢性疾患と関連していることが指摘されてきました。特に日本の高齢者人口の割合は世界で最も高くなっており、今後ますます運動の重要性が強調されるようになることが予想されます。

文部科学省やスポーツ庁が主導する国のスポーツ政策では、「する」「見る」「ささえる」といった多様な形でのスポーツ参画人口の拡大に取り組もうとしています。これまでの知見をもとにアスリートの競技力向上や子どもや中高齢者の健康づくりに関する多くのデータを地道に蓄積し、研究成果を論文として形にすることもスポーツを「ささえる」方法の一つになると思います。

一つの論文が完成に至るまでには、著者、担当編集者、査読者、事務局担当者、編集委員長など多くの人の協力が必要となります。会員の先生方と『ONE TEAM』となって日本体力医学会を盛り上げていきましょう。今年も皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

大島秀武

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.69, No.1

体 力 科 学 第 69 巻 第 1 号

令和 2 年 1 月 25 日 印 刷
令和 2 年 2 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

編 集 事 務 局

印 刷 所

後 藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社